

令和6年度 第2回 嘉麻市学力向上推進プロジェクト協議会 会議録

- 1 審議会等の名称 令和6年度第2回嘉麻市学力向上推進プロジェクト協議会
- 2 開催日時 令和7年3月12日 水曜日 午後6時30分～
- 3 開催場所 碓井庁舎3階 研修室1
- 4 公開又は非公開の別 公開
- 5 非公開の理由（会議を非公開とした場合のみ）
- 6 出席者
  - (1) 委員  
会 長 木本寛昭  
副会長 高松美紀（欠席）  
委 員 田中怜奈委員、大力智司委員、島崎洋子委員、齊藤ゆかり委員、  
石場広規委員、明星博子委員、梶山 太委員、北富真治委員、石田英喜委員、  
石井雄二委員
  - (2) 事務局  
学校教育課長 田淵 敬三 学校教育課参事 大淵 豊  
学校教育課指導係長 大脇 猛 学校教育課教務係 篠崎 詠太
- 7 傍聴人数（会議を公開した場合のみ） 0人
- 8 議題及び協議の内容  
**【議題】**
  - (1) 嘉麻市土曜未来塾について（公開）
  - (2) 嘉麻市オンライン英語授業について（公開）  
**【協議の内容】**
  - (1) 嘉麻市土曜未来塾について（公開）

協議の柱：嘉麻市土曜未来塾の来年度の方向性について  
本年度の土曜未来塾・嘉麻市オンライン英語授業の実施状況について説明し、協議した。

《主な説明内容》

    - 本年度の嘉麻市土曜未来塾の参加者…182名
    - 成果

- ・ 中学校・義務教育学校後期課程の参加者の進学率…100%
- ・ 小学校・義務教育学校前期課程の参加者の成績の変容  
…67人中42人が向上(63%)

※ 参加率50%以上の児童生徒を調査対象

※ 小学校・義務教育学校前期課程の参加者の成績については、昨年度と本年度の標準学力調査の結果を比較

○ 来年度の方向性

- ・ 嘉穂小学校の児童の会場を嘉穂小から嘉穂中に変更  
(理由)

担当する会場責任者が、午前と午後で会場が異なるため、午前の部が終わった後、会場の片付けを行い、次の会場へ移動、準備を行わなければならない。午前の部の保護者の送り迎えが遅くなると、午後が間に合わない可能性がある。

- ・ 更なる参加者の増加に向けた取組

案内チラシの配布

すぐメールを使つての周知

PR動画の作成

事業の趣旨の説明(学校の教職員)

《主な協議》

- 嘉穂小学校の児童の会場を嘉穂小から嘉穂中に変更について、問題ないのではないか。
- 子供を預かっているので、子どもの安全を守らないといけない。予定外のことがあつて十分準備ができていないということがあつてはならない。そこで、会場を一か所にし、移動をなくすことで、十分準備の時間を確保する、安全を確保するということがいいのではないか。
- 小学生で市バスを使つてきている子がいないかどうかという通塾状況についてはどうか。
- 今年度、嘉穂小に通塾している子で、市バスを使つている子はいなかった。ほぼ保護者の送り迎えだった。したがって、この件については問題ないを考える。
- 嘉穂中の下に市バスの停留所があるので、会場変更があつても大丈夫ではないか。

(2) 嘉麻市オンライン英語授業について(公開)

協議の柱: 嘉麻市オンライン英語授業の来年度の方向性について

○ 本年度の実施内容

- ・ 英検3、4、5級合格を目的に行う外部業者への委託によるオンラインでの英語授業
- ・ 市内中・義務教育学校をオンラインでつなぎ、電子黒板ごしに一斉学習にて実施
- ・ 本年度は、年13回の実施

○ 本年度の課題

- ・ 43名の参加者（100名の参加を目指している事業）

（原因）

本年度が取組初年度のため、生徒や保護者にどのような取組か内容を十分に周知できなかったため

本年度途中からのスタートとなったため、周知を図る時期が遅くなったため

- ・ 学習についていくのが難しい生徒が見られた

（原因）

運営上2授業ずつしか実施できない。また、生徒によって目指している目標が異なる（3・4・5級）。そこで、本年度は、全ての目標に対応できるよう、3級・4級の内容を行うコース、4級・5級の内容を行うコースという2つのコースを設定したが、その結果、まだ学校で習っていない内容について学習する状況が生じたため

○ 来年度の方向性

- ・ コースの設定

基本的にそれぞれの学年の内容に応じた学習ができるよう3・4・5級を対象とした3コースを設定

- ・ それぞれのコースを実施する時期をずらして実施

1学期…5・4級対象のコース

2学期…5・3級対象のコース

3学期…5・4級対象のコース

※ 3級については、夏休みに英作文の添削などの内容も含めた夏期講座を実施

- ・ 参加者の増加に向けた取組

名称の変更 「嘉麻市オンライン英語授業」→「嘉麻市放課後英語塾」

PR動画作成による周知

6年生を対象としたお試し授業

英検会場の提供

《主な協議》

- 先着20名ということだったが、学校によってばらつきがあった場合はどうするか。全体の人数が多少100名を超えてもいいのか。
- 全体の人数が100名を超えることは、業者との契約上できない。ただ、A校の希望者が40名、B校の希望者が0名であったときに、全体の人数が100名届いていないのにA校の20名の希望者を断るのはもったいないので、その時の場合次第だが、100名を超えない範囲であれば、多少調整していきたいと考えている。
- 3・4・5級のコースの割り振りはどうするのか。

- 本人たちの希望で決定する。電子黒板を通しての一斉授業なので、教室に入りきれば問題はない。募集する20名全員が1つのコースを選んだとしても、教室に入りきれないことはなく十分授業を受けることはできる。
- 英語塾の件で、欠席した子は動画配信などで後々見ることができるのだが、例えば、希望したけれど先着で漏れて参加することができなかったという子に、動画だけでも見せることはできないのか。
- 結論から申し上げるとできない。業者としては塾であり、定員100名に対していくらで行いますよという提携なので。また、学習では内容理解のためにテキストを配布するので、それだけでも費用が掛かる。そのテキストを無料配布というわけにもいかない。たくさんの子に参加させたいという思いはあるが、現状の契約では、そこまではできない。

今後、定員以上の参加者の申込があるようであれば、またその際に検討していけたらと考える。

- 現在は、まだ人数が100をこえていないのか。
- 今年はまだ43名。牛隈小だけがどうしても都合がつかなかったので実施できなかったのだが、それ以外の学校では来年度に向けて、6年生を対象に おすすめ授業をしたところ、参加者が39名集まったので、来年度は希望が増える可能性が高いのではないかと予想している。
- うちは勝手に申し込んで子どもをいかせた。行ったら行ったで、楽しかったと帰ってきていた。外国人の先生と会話したことが印象強かったようだ。興味がある子には、それがいいのかなと思った。
- 本年度の実績が43名なので、とりあえず100名近くを参加していただいて、そこで実績ができれば、先ほどおっしゃっていただいたことも含めて予算をもらえるかもしれない。とりあえず実績。子ども達が楽しく学習できたとか、英語が大好きになったとか、そういう子どもたちが1年間を通して増えたとなると、議会で予算を通すのも不可能ではないのではないかと。とりあえずは令和7年度は100名近くを集めて、充実した英語塾になるよう、みなさんの協力をいただきながら進めて行けたらと思う。
- 例えば試験的に6年生にしたものが、今後5年生対象にということもありうるかもしれないということか。
- 可能性的にはあると思う。
- 先着20名ということだったが、それぞれの担任が集めた際に学校全体で見てだれが先着かわからないということも起きるかもしれない。その場合、校内で抽選とか明確にしておいた方がいいと思う。
- 同一日で20名を超えてしまうということも可能性としてはあるので、この件については検討し、各学校へ周知を図っていく。

- 数多くの子供達が応募して、この英語塾が充実していく、そして参加者の数を増やしていく、そのような勢いを皆さんと一緒に作っていきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

### (3) その他 (公開)

- そもそも、勉強をやる気にさせないといけない。小学校1年生のころから、勉強はしないといけない。勉強を楽しいと思わせていけないといけないと考える。小学校1年生だと、集中力が20分しか持たないという話も聞くので、20分勉強させたら休んで、また20分勉強させるというように臨機応変にできないか。
- 45分先生が説明するだけの授業だとアウト。読んだり、書いたり、時には席を離れてグループで話し合ったりとか、子供達に学習を飽きさせないよう各学校工夫してやっている。
- 学習意欲を持たせるのは難しい。勉強が好きで好きでたまらないという子供もたちは多くない。多くするために、先生方も工夫をされているが、なかなか難しい。しかし、そのような視点をもって毎時間工夫されている。

また、先生方によって指導力の差がある。初任の先生と中堅の先生ではキャリアが異なる。しかし、それでいいかと言われたらよくはない。1年生から力を積み上げていって、そして意欲をもって自ら学ぶ力を身に付けなければならない。それを補うために、学校全体としてその先生にサポートしたり助言したり、そういった工夫をしていながら、子供達が意欲的に学習できる力を身につかせていこうと努力している。

土曜未来塾にしても放課後英語塾にしても、「また参加したい」とお家の人をお願いするような子をもっともっと増やしていけたらと思う。課題もあるので、お家の方の協力もいただきながら、土曜未来塾や放課後英語塾に足を向けさせていくということができれば、もっと参加者が増えるのではないかと思います。ぜひ協力を頂けたらと思う。

## 9 配付資料

レジュメ